



第1107号

令和5年7月20日発行

目次	
信濃の自然めぐり	2
県Pとの懇談会	2
定時総会報告	3～4
令和4年度収支決算書	5～6
基礎講座参加者の声	7
全県研究大会のご案内	8
総集会 HP 掲載のご報告	8
企画展のご案内	8
ボニーちゃん PR	9
8・9月の研修ガイド	9
学事関係職員録正誤表	9
今月の一枚	10
100年館の絵	10



心も涼やかに、リフレッシュ！ 木曽馬とともに 臨地講習「信濃の自然めぐり」 開田高原にて



昨年度、「若手教職員と信教会長の語る会」に参加しました。今回の講習は、その会で出た若手教職員のアイデアがもとになっています。参加者がリフレッシュできることを大切にしたい画期的な研修です。私は当日、司会進行役として参加させていただきました。幸い梅雨の晴れ間、清々しいお天気のもと開催できたことはうれしい限りです。木曽おんたけ健康ラボでは、講師の先生とともに森の中の散策、スラックラインや木登り等に挑戦しました。森の中で体を動かすのは気持ちがいいですね。山菜をふんだんに使ったお弁当もまた素敵でした。心身ともにいきいきしたひとときです。木曽馬との触れ合いもまた多くを学び感じることでできる機会でした。

私は乗馬が好きですが、木曽馬と触れ合うのは初めてです。いざ間近に触れ合ってみて、すっかりそのかわいらしさに魅了されました。講師の先生から、木曽馬という貴重な在来馬がたどった歴史や文化について教わり、人とのかわりの深さを知ることができました。実際に馬と触れ合うことで、参加した誰もが癒されたことと思います。

開田高原で過ごした一日を思い出すと、今も心が涼やかになります。素敵な機会にかかわらせていただきありがとうございました。

井上聡大（奈川小中学校）



日本で最も美しい村、開田高原で木曽馬とともにゆったりと過ごす一日。“こんな講座があったらいいな”という若い先生方のアイデアがこのようなカタチで叶いました。ご夫婦での参加や小さなお子様と一緒に参加していただいた方もおられました。レクチャーでは開田小の子どもたちと木曽馬との豊かなかかわりを聞き、この仕事っていいなということも感じました。心も体もリフレッシュし、健康で毎日の仕事に向かいたいですね。「信濃の自然めぐり」は皆さんのアイデアをもとに来年も…。

参加者の感想から

またこんな講座を開いてほしいな

木曽馬が可愛かったです。開田高原の素敵さをたくさん知ることができました。森の中で遊んだり、木曽馬と歩いたりして心が癒されました。自然の中で遊ぶのは楽しいです。またこのような講座を開いてほしいです。

仕事も頑張ろうって思えた！

普段の生活では経験できないことができて、とても良かった。馬との触れ合いで、とても幸せな気持ちになって癒されました。また個人的に訪れたいです。来週からの仕事も頑張ろうと思えました。

親子で参加できるっていいね

子どもを連れていかせていただきましたが本当に沢山の配慮をしていただき、久しぶりの木曽を親子で満喫することができました。本当にありがとうございました。子ども達も自然の中で遊べたことが楽しかったようで、帰宅後もずっとお話していました。子どもが参加することが可能な研修が今後増えていくと、私のような立場の先生もどんどん参加できると思います。

心も体も健康で働くために、リフレッシュ！

開田高原の澄んだ空気の中、木曽馬と触れ合いながらウォーキングができて、リフレッシュしました。心も体も健康で働いていくためには、こういった講座でリフレッシュ方法を教えていただくことも大切なことだと感じました。大変お世話になりました。

ゆっくり心安らかな時間 感動！

ゆっくり心安らかに時間を過ごすことができました。木曽馬が地域で大切にされてきた経緯をお聞きしてから本物の木曽馬と出会いましたが、すぐく身近で愛らしく感じました。こんなにもたくさん触れ合えるとは思わず、感動しました。素晴らしい研修をありがとうございました。



2023
6/13
TUE

長野県 PTA 連合会役員の皆さんとの懇談会が開催されました

信濃教育会館内に事務局がある県PTAと信濃教育会のそれぞれが、今取り組んでいることや課題や今後の方向等を率直に語り合うことができました。

ある地区ではPTA役員がキャリア教育の講師となって、子どもたちに生き方を伝えている。PTAは未来の地域人を育てる役割があり、大変重要な働きをしているが、なかなか理解されない。そのためには取組を積極的に発信していく必要がある。大学生などにも話をしていきたい。等々、既に実施されている取組も含めて自由な雰囲気でも語り合うことができました。



前例を踏襲するのではなく、

会員のためであるか、子どもたちのためであるか、教育の理想を求めているか
様々な観点から信濃教育会の進むべき方向性を自由闊達に議論しよう。

令和5年度第1回定時総会が6月27日（火）に信濃教育会館講堂において、各郡市教育会から選出された代議員44名（全代議員50名）の出席のもと開催された。最初に総会の正副議長が選出され、第1号議案及び第2号議案が上程され、報告・承認・選任された。続いて別室で開催された臨時理事会では、6名の理事及び2名の監事の出席のもと、定款第22条第1項の規定に基づき、会長、副会長及び専務理事、常務理事が選定された。以下定時総会の概略を報告する。

【武田会長あいさつ】・・・・・・・・・・

○本年度信濃教育会代議員としてよろしくお願いしたい。前例を単に踏襲するのではなく、会員のためであるか、子どもたちのためであるか、教育の理想を求めているか、など様々な観点から、信濃教育会の進むべき方向性について自由闊達に議論していただきたい。

○伊那市では中学2年生全員を対象に「キャリアフェス」というイベントを行っている。伊那市も人口減少が進み、将来を考えたときに多くの若者が都会に流出する状況は、死活問題と言ってもいい。地域の人たちの切実な思いがこのイベントを支えている。

○一方、学校は概して消極的。教師の負担が増える、他校生徒と接触する生徒指導面の心配、市教委が押し付けた事業だとの思い込みなどがある。地域の方たちにとっては、服装がどうだとか、聞く態度がどうだとか、食事の行儀がどうだとかたいした問題ではない。しかし、学校の先生はそんなことが気になってしかたない。その地域に3年～5年ぐらいいかない学校の先生の思いが、その地域で一生暮らす人々の思いに優先されるというのか。「学校が閉鎖的だ」といわれる事実がここにある。学校と地域の連携とはこの溝を埋めることである。

○「信州教育とは何か」と言われることがあるが、信州教育の一つの側面は、学校教育の地域密着性にある。学校は地域と共にあり、子どもたちは地域の子どもであり、地域の子どもは地域で育ててきた。その地域から学校は学校の理屈で子どもを学校に閉じ込めてきたように思う。

○長野県では、信濃教育会や郡市教育会が、地域との

連携を深めるための重要な機関である。地域の文化面を担う教育会は、地域の歴史や文化や自然を研究調査したり、地域の人々に学ぶ場を提供したり、時には地域の方々と共に事業を行ってきた。本県において「令和の日本型学校教育」を実現していくアプローチの一つは、教育会を育てることである。教育会を育てるのは誰なのだろうか。校長会や市町村教育委員会が教育会を育て、同好会などを育て、教育力を高めてきたのである。

○様々な難問が山積する今、長野県の良さと強みを再び生かすときに来ているのではないだろうか。

【正副議長の選出】・・・・・・・・・・

議長 長野上水内教育会 永井克昌 代議員
副議長 大学教育会 西 一夫 代議員

【議 事】・・・・・・・・・・

報告事項 「令和4年度公益社団法人信濃教育会事業報告」に関する件

第1号議案「令和4年度公益社団法人信濃教育会決算の承認」に関する件

第2号議案「公益社団法人信濃教育会 理事及び監事の選任並びに会長、副会長、専務理事及び常務理事候補者の選任」に関する件

【協 議 I】・・・・・・・・・・

- (1) 令和5年度信濃教育会事業及び予算について
 - ・昨年度より全県研究大会が立候補制になり会員の自主性・主体性を重視するという方向に変わったことで次代を担う学ぶ意欲のある教員がやりたいように研究するということが出来た。また、その様子がBooklet 信教から見る事がで

きた。ぜひ、この方向を継続して欲しい。

- ・リフレッシュできて意欲向上が図れるといった講習・講座があり様々な工夫がしてあることを感じる。

(2) 雑誌『信濃教育』の購読増について

- ・「一緒に勉強しよう」を合言葉にし、職員会や日々の日報の中で武田会長の巻頭言を小出しに使いながら、雑誌『信濃教育』が身近に感じられる様な工夫をしている。

【臨時理事会報告】（満期役員の選定結果）.....

代表理事・会長	武田 育夫 氏
副会長	村松 浩幸 氏
専務理事	大日方貞一 氏
常務理事	塩野入幸隆 氏
理事	桂本 和弘 氏、篠原 謙治 氏
監事	青木 昭 氏、安達 永真 氏

【報告・連絡】.....

- (1) 教育研究所本年度の運営方針
- (2) 講習・講座の計画
- (3) 全県研究大会の概要及び令和5年度全県研究大会に向けて
- (4) 第74日本連合教育会研究大会山口大会
- (5) 第27回教育研究論文・教育実践賞の募集
- (6) 「教員助成事業」の申込み状況
- (7) 第20回信州“教育の日”宮田大会について
- (8) 第42次日中友好長野県教育者訪中団について
- (9) 第137回信濃教育会総集会更埴大会について
- (10) 令和5年度総会の年間計画及び第2回臨時総会について

【協 議Ⅱ】.....

- (1) 再任用者及び定年延長者の会費改定について
- (2) 再任用者及び定年延長者に配慮した事業企画について

○グループ別協議

○全体協議

- ・定年を迎えるにあたってICTや担任をもつことなどの不安解消のための事業が欲しい。若い人と再任用が語り合えるような講習・講座が欲しい。
- ・生きがいや趣味、退職した後どうやって生きて

いくのかが不安という意見。教員という職をとったら何が自分の中に残るのか。その不安を解消できたり新たな繋がりを作れたりするような講座があれば良いと思う。

- ・キーワードは、健康と知的好奇心。60歳にもなると体が弱くなるため、体を動かすようなものがあると良いと思う。趣味やセカンドライフを充実させるためにもサークルのようなものがあるとよいと思う。
- ・参加しやすさという面から、各郡市で企画し講座を開き、信濃教育会で支援をするといったやり方やオンラインも活用するといったやり方がある。

【閉会のあいさつ】.....

○昨年、定年延長者向けのICT研修会をやっていたきたいという要望があったので次回のアフタヌーンセミナーでICTを取り上げる。この講座は定年延長してから教壇に立つ教員向けの研修。校長先生で役職定年したあと教壇に立つ人たちへの研修は、信濃教育会や郡市教育会が積極的に考えていかないといけないと思う。

○上高井の校長会研修で話をして欲しいと依頼を受け来た案内に持ち物がギターと書いてあった。校長会が始まる前に皆で歌を歌うのでギターで演奏して欲しいという依頼。始めは「あの日にかえりたい」そして最後には「心の旅」を歌った。そのときに思ったのが、色々な問題がありまた忙しい中、歌を歌って始め歌を歌って終わるのは大事だなと思う。

○10年以上前にやっていた「ROOKIES」という野球のドラマがある。不良の子ども達が試合をやっているピンチになると先生の方を見る。そのとき先生は笑顔を見せたり、大丈夫だと声をかけたりして元気づける。現場の先生達は毎日大変な思いをしていて心配事やストレスがたまることがあると思うが、このドラマの先生の様に変だけども校長先生達がニコニコし校長会で歌を歌う、このような事が大事なのではないかと思う。校長先生方も心配事やストレス、そして忙しいと思うが、ぜひ他の先生の前では笑顔でいて、大丈夫だという顔をして学校にいて欲しい。これからも体に気をつけて活躍して欲しいと思う。感謝申し上げる。

公益目的事業収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	251	356	105
(2) 受取会費	149,032,493	151,319,000	2,286,507
(3) 事業収益	40,552,525	38,672,500	△1,880,025
1 購読収益	14,583,370	13,890,000	△693,370
2 受取印税	25,679,075	24,400,000	△1,279,075
3 講座受講料	232,500	332,500	100,000
4 会館使用料	57,580	50,000	△7,580
(4) 受取寄付金	0	0	0
(5) 受取寄付金	0	0	0
(6) 雑収益	1,169,091	408,550	△760,541
経常収益合計 (A)	190,754,360	190,400,406	△353,954
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	164,296,041	182,707,084	18,411,043
(1) 職能研修事業費	25,714,642	38,738,000	13,023,358
1 研究調査費	2,924,035	3,830,000	905,965
1 委員会費	1,378,192	2,150,000	771,808
2 旅費交通費	103,840	120,000	16,160
3 通信運搬費	181,327	200,000	18,673
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	80,328	160,000	79,672
6 印刷製本費	820,611	800,000	△20,611
7 諸謝金	243,877	350,000	106,123
8 雑費	115,860	50,000	△65,860
2 福祉教育資料研究調査費	1,241,270	264,000	△977,270
1 委員会費	181,310	190,000	8,690
2 旅費交通費	0	24,000	24,000
3 通信運搬費	3,980	5,000	1,020
4 消耗品費	1,980	0	
5 支払助成金	40,000	40,000	0
6 支払寄付金	1,000,000	0	△1,000,000
7 雑費	14,000	5,000	△9,000
3 教育研究所運営費	3,482,725	4,965,000	1,482,275
1 委員会費	131,820	230,000	98,180
2 旅費交通費	1,506,740	2,558,000	1,051,260
3 通信運搬費	177,241	170,000	△7,241
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	87,388	286,000	198,612
6 印刷製本費	471,713	500,000	28,287
7 諸謝金	991,193	992,000	807
8 支払負担金	39,400	40,000	600
9 雑費	77,230	189,000	111,770
4 講習講演会費	3,781,828	5,799,000	2,017,172
1 旅費交通費	1,388,936	2,440,000	1,051,064
2 通信運搬費	79,221	172,000	92,779
3 消耗品費	130,609	355,000	224,391
4 印刷製本費	0	40,000	40,000
5 賃借料	223,490	260,000	36,510
6 諸謝金	1,293,720	1,440,000	146,280
7 支払助成金	550,000	770,000	220,000
8 雑費	115,852	322,000	206,148
5 教育研究大会費	7,655,737	9,970,000	2,314,263
1 旅費交通費	1,968,184	2,740,000	771,816
2 通信運搬費	109,588	205,000	95,412
3 消耗品費	169,294	130,000	△39,294
4 印刷製本費	68,111	160,000	91,889
5 賃借料	273,350	300,000	26,650
6 諸謝金	2,051,660	2,600,000	548,340
7 支払負担金	100,000	100,000	0
8 支払助成金	2,531,160	3,315,000	783,840
9 委託費	264,000	300,000	36,000
10 雑費	120,390	120,000	△390
6 視察派遣助成費	654,240	5,730,000	5,075,760
1 委員会費	17,400	570,000	552,600
2 旅費交通費	85,860	300,000	214,140
3 通信運搬費	23,280	60,000	36,720
4 支払負担金	319,600	380,000	60,400
5 支払助成金	208,100	4,365,000	4,156,900
6 雑費	0	55,000	55,000
7 教育会研修助成費	769,000	1,000,000	231,000
1 支払助成金	769,000	1,000,000	231,000
8 応募型研修助成費	5,205,807	7,180,000	1,974,193
1 旅費交通費	171,200	15,000	△156,200
2 通信運搬費	2,398	30,000	27,602
3 消耗品費	27,524	80,000	52,476

4 印刷製本費	0	30,000	30,000
5 諸謝金	55,685	25,000	△30,685
6 支払助成金	4,940,000	7,000,000	2,060,000
7 雑費	9,000	0	△9,000
(2) 教育図書研究調査事業費	23,223,231	29,131,000	5,907,769
1 教科用図書研究委員会費	5,639,723	9,818,000	4,178,277
1 委員会費	4,416,918	7,095,000	2,678,082
2 旅費交通費	138,890	715,000	576,110
3 通信運搬費	99,348	230,000	130,652
4 消耗什器備品費	0	200,000	200,000
5 消耗品費	470,649	1,164,000	693,351
6 諸謝金	155,918	240,000	84,082
7 雑費	358,000	174,000	△184,000
2 学術図書研究委員会費	17,583,508	19,313,000	1,729,492
1 委員会費	192,940	275,000	82,060
2 旅費交通費	18,160	100,000	81,840
3 通信運搬費	2,322,172	2,500,000	177,828
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	321,787	80,000	△241,787
6 印刷製本費	12,156,760	13,285,000	1,128,240
7 諸謝金	1,204,894	1,570,000	365,106
8 期首商品棚卸高	14,377,399	14,200,000	△177,399
9 期末商品棚卸高	△14,287,218	△14,300,000	△12,782
10 雑費	1,276,614	1,603,000	326,386
(3) 生涯学習振興事業費	3,182,613	3,799,000	616,387
1 教育博物館運営費	1,055,118	1,499,000	443,882
1 委員会費	255,100	366,000	110,900
2 旅費交通費	16,900	117,000	100,100
3 通信運搬費	73,695	131,000	57,305
4 消耗品費	84,754	170,000	85,246
5 印刷製本費	268,158	335,000	66,842
6 諸謝金	33,411	50,000	16,589
7 支払助成金	300,100	300,000	△100
8 雑費	23,000	30,000	7,000
2 生涯学習推進支援事業費	2,127,495	2,300,000	172,505
1 委員会費	32,790	40,000	7,210
2 旅費交通費	86,080	120,000	33,920
3 通信運搬費	119,507	150,000	30,493
4 消耗什器備品費	0	150,000	150,000
5 消耗品費	86,852	220,000	133,148
6 修繕費	460,000	150,000	△310,000
7 印刷製本費	0	0	
8 光熱水料費	480,182	470,000	△10,182
9 保険料	193,108	180,000	△13,108
10 諸謝金	89,096	100,000	10,904
11 委託費	539,440	570,000	30,560
12 雑費	40,440	150,000	109,560
(4) 事業共通費	112,175,555	111,039,084	△1,136,471
1 役員報酬	4,835,593	3,621,700	△1,213,893
2 給料手当	61,739,544	61,138,100	△601,444
3 退職給付費用	1,829,460	2,788,800	959,340
4 福利厚生費	10,365,345	9,893,600	△471,745
5 会議費	476,316	664,000	187,684
6 委員会費	105,506	136,800	31,294
7 旅費交通費	376,355	697,200	320,845
8 渉外応接費	267,719	398,400	130,681
9 通信運搬費	662,272	987,000	324,728
10 減価償却費	8,411,678	7,967,599	△444,079
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	2,190,112	1,710,800	△479,312
13 修繕費	580,830	197,400	△383,430
14 印刷製本費	425,749	531,200	105,451
15 光熱水料諸費	13,246,177	11,712,400	△1,533,777
16 賃借料	3,038,441	2,988,000	△50,441
17 保険料	226,961	244,485	17,524
18 租税公課	845,896	2,772,000	1,926,104
19 支払負担金	2,015,301	2,124,800	109,499
20 委託費	0	0	0
21 雑費	536,300	464,800	△71,500
【管理費】	42,305,705	42,793,397	487,692
1 会議費	953,637	1,625,000	671,363
1 総会費	762,880	1,320,000	557,120
2 理事会費	30,830	50,000	19,170
3 監事会費	3,040	30,000	26,960
4 共通会議費	156,887	225,000	68,113
2 会報発行費	3,750,518	3,753,000	2,482
1 委員会費	17,070	42,000	24,930
2 旅費交通費	1,300	60,000	58,700
3 通信運搬費	827,048	800,000	△27,048
4 消耗品費	7,528	16,000	8,472
5 印刷製本費	2,854,961	2,800,000	△54,961
6 諸謝金	33,411	30,000	△3,411
7 雑費	9,200	5,000	△4,200

3 事務費	37,601,550	37,415,397	△186,153
1 役員報酬	4,366,481	5,376,800	1,010,319
2 給料手当	17,507,294	16,556,380	△950,914
3 退職給付費用	602,581	945,000	342,419
4 福利厚生費	3,414,105	3,352,500	△61,605
5 旅費交通費	192,303	286,250	93,947
6 渉外応接費	388,621	735,000	346,379
7 通信運搬費	284,433	362,000	77,567
8 減価償却費	1,562,866	1,449,407	△113,459
9 消耗什器備品費	0	0	0
10 消耗品費	1,064,728	692,800	△371,928
11 修繕費	194,188	118,400	△75,788
12 印刷製本費	375,852	480,000	104,148
13 光熱水料諸費	4,428,573	4,058,400	△370,173
14 賃借料	1,000,792	1,012,500	11,708
15 保険料	57,983	62,460	4,477
16 租税公課	0	0	0
17 支払負担金	687,174	770,000	82,826
18 委託費	473,000	500,000	27,000
19 雑費	1,000,576	657,500	△343,076
経常費用合計 (B)	206,601,746	225,500,481	18,898,735
当期経常増減額 (A) - (B)	△15,847,386	△35,100,075	△19,252,689
他会計振替額	7,010,137		
他会計振替額	7,470,375		
当期一般正味財産増減額	△1,366,874		
一般正味財産期首残高	343,452,878		
一般正味財産期末残高	342,086,004		
Ⅱ 正味財産期末残高	342,086,004		

出版事業収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位=円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	5	11	6
(2) 事業収益	14,715,410	14,700,000	△15,410
1 購読収益	12,113,600	12,000,000	△113,600
2 受取印税	2,601,810	2,700,000	98,190
(3) 雑収益	45,233	2,450	△42,783
経常収益合計 (A)	14,760,648	14,702,461	△58,187
2 経常費用の部			
1 役員報酬	222,374	390,180	167,806
2 給料手当	1,555,539	2,220,480	664,941
3 退職給付費用	48,858	113,400	64,542
4 福利厚生費	276,819	402,300	125,481
5 会議費	12,721	27,000	14,279
6 委員会費	207,424	303,200	95,776
7 旅費交通費	11,311	28,350	17,039
8 渉外応接費	7,150	16,200	9,050
9 通信運搬費	716,915	740,500	23,585
10 減価償却費	326,511	312,945	△13,566
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	128,843	80,200	△48,643
13 修繕費	15,604	8,100	△7,504
14 印刷製本費	5,668,296	5,571,600	△96,696
15 光熱水料諸費	355,867	480,600	124,733
16 賃借料	163,447	211,500	48,053
17 保険料	6,935	7,470	535
18 租税公課	303,754	916,650	612,896
19 支払負担金	53,821	86,400	32,579
20 委託費	2,133,836	1,600,000	△533,836
21 雑費	267,188	298,900	31,712
経常費用合計 (B)	12,483,213	13,815,975	1,332,762
当期経常増減額 (A)-(B)	2,277,435	886,486	△1,390,949
他会計振替額	△293,291		
税引前当期一般正味財産増減額	1,984,144		
法人税・住民税及び事業税	38,298		
当期一般正味財産増減額	1,945,846		
一般正味財産期首残高	37,985,829		
一般正味財産期末残高	39,931,675		
Ⅱ 正味財産期末残高	39,931,675		

不動産貸与事業収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位=円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			

(1) 特定資産運用益	1,309	1,313	4
(2) 事業収益	14,130,600	13,870,600	△260,000
1 貸家賃貸料	9,786,600	9,526,600	△260,000
2 貸地賃貸料	4,344,000	4,344,000	0
(3) 受取負担金	3,134,451	3,000,000	△134,451
(4) 雑収益	1,323,247	500	△1,322,747
経常収益合計 (A)	18,589,607	16,872,413	△1,717,194
2 経常費用の部			
1 役員報酬	402,372	390,180	△12,192
2 給料手当	2,623,774	2,949,380	325,606
3 退職給付費用	84,144	142,800	58,656
4 福利厚生費	476,744	506,600	29,856
5 会議費	21,908	34,000	12,092
6 旅費交通費	17,310	35,700	18,390
7 渉外応接費	12,313	20,400	8,087
8 通信運搬費	30,642	52,500	21,858
9 減価償却費	4,386,814	4,128,444	△258,370
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	127,843	91,000	△36,843
12 修繕費	344,774	110,500	△234,274
13 印刷製本費	19,582	27,200	7,618
14 光熱水料諸費	3,821,257	3,673,000	△148,257
15 賃借料	361,940	553,000	191,060
16 保険料	157,359	159,380	2,021
17 租税公課	1,473,750	2,011,350	537,600
18 支払負担金	92,692	108,800	16,108
19 委託費	0	0	0
20 雑費	129,277	103,800	△25,477
経常費用合計 (B)	14,584,495	15,098,034	513,539
当期経常増減額 (A) - (B)	4,005,112	1,774,379	△2,230,733
他会計振替額	△200,185		
税引前当期一般正味財産増減額	3,804,927		
法人税・住民税及び事業税	42,702		
当期一般正味財産増減額	3,762,225		
一般正味財産期首残高	177,865,398		
一般正味財産期末残高	181,627,623		
Ⅱ 正味財産期末残高	181,627,623		

災害見舞金事業収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位=円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	47,348,889	33,990,020	△13,358,869
(2) 受取会費	3,000,000	3,000,000	0
経常収益合計 (A)	50,348,889	36,990,020	△13,358,869
2 経常費用の部			
1 役員報酬	1,291,868	1,086,540	△205,328
2 給料手当	4,178,489	3,838,260	△340,229
3 退職給付費用	149,288	210,000	60,712
4 福利厚生費	845,837	745,000	△100,837
5 会議費	182,178	250,000	67,822
6 旅費交通費	32,671	52,500	19,829
7 渉外応接費	21,847	30,000	8,153
8 通信運搬費	72,957	93,000	20,043
9 減価償却費	262,067	241,715	△20,352
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	186,323	135,200	△51,123
12 修繕費	49,414	15,600	△33,814
13 印刷製本費	91,832	40,000	△51,832
14 光熱水料諸費	1,126,914	925,600	△201,314
15 賃借料	247,944	225,000	△22,944
16 保険料	10,402	11,205	803
17 支払負担金	164,453	160,000	△4,453
18 支払見舞金	11,204,323	15,000,000	3,795,677
1 死亡・障害見舞金	6,000,000	9,000,000	3,000,000
2 入院・通院見舞金	1,270,000	3,000,000	1,730,000
3 自然災害見舞金	3,934,323	3,000,000	△934,323
19 委託費	0	0	0
20 雑費	45,604	40,000	△5,604
経常費用合計 (B)	20,164,411	23,099,620	2,935,209
当期経常増減額 (A) - (B)	30,184,478	13,890,400	△16,294,078
当期経常外収益	0		
他会計振替額	△6,516,661		
他会計振替額	△7,470,375		
当期一般正味財産増減額	16,197,442		
一般正味財産期首残高	1,270,454,386		
一般正味財産期末残高	1,286,651,828		
Ⅱ 正味財産期末残高	1,286,651,828		

合唱

共に歌い感動を分かち合える喜び

5月20日(土) 上田市丸子文化会館セレスホール
受講者数 84名 * 4年振りに対面での開催

○講習全て素晴らしかったです。藤原先生の子ども達を通しての具体的なお指導を目の前で見せていただき、大変勉強になりました。また実際に先生方と藤原先生と合唱ができて、合唱の楽しさを改めて実感しました。自校の合唱団や児童とも、そんな経験ができるといいなと思いました。

○藤原先生のご指導、音楽、指揮、情熱、全て素晴らしく、参加できて本当によかったです。また来年も参加したいと思う講座でした。



○今日は、一週間の疲れで体力に限界を感じたら途中で帰ろうと思って参加しましたが、企画内容がよかったので、元気になって帰ってきました。ありがとうございました。

○楽しく、わかりやすく、1日あっという間に感じました。コンクール課題曲の解釈やアプローチの仕方も勉強になりました。

オーケストラ

仲間と共に美しい音を紡ぎ出し響き合う

5月20日(土)・6月24日(土) 信濃教育会生涯学習センター

受講者数 60名

○今回、初めて参加させていただきましたが、あたたかい雰囲気の中、楽しく演奏できました。木村先生の的確で分かりやすいご指導も、心地よい緊張感の中で楽しく受けられました。来年度以降も、ぜひ参加できればと思います。ありがとうございました。

○毎年楽しみにしている講座です。今年は好きなビゼーのカルメン。難しい、でもすごくやりがいのあるタンバリン・シンバルの演奏を通じて、オーケストラに音色を合わせること、*pp~ff*への音色変化、雰囲気を合わせることの大切さと楽しさを味わうことができました。7月1日の本番はみなさんで最高の演奏ができればと思います。貴重な機会をありがとうございます。



○今年も木村先生の丁寧なお指導のもと、大変勉強になりました。日頃は、地元のオーケストラで活動していますが、また違った方々の中、そして木村先生のご指導を受け、本当に勉強になります。今年は昨年より多くの方が参加されてよかったと思います。金曜日・土曜日と分けるより土曜日にまとめた方が参加者が多くよかったように思います。今後よろしくお願いします。

信濃教育会

全県 研究 大会

ベースとなる授業観

「子ども自らが、心ゆくまで探究する」授業

10/27（金）スタート、最終公開11/30（木）
〔学校研究7〕〔個人研究8〕の15研究を公開！

研究校・授業者、共同研究者、参加者の皆さんとともに授業づくり
について考え合しましょう。

ぜひご参加ください！

研究校・公開内容の詳細・参加申込みは・・・

①信教ホームページ

②Booklet信教vol.128

③ポスター(7月下旬配布予定)

開催のお知らせ

研究調査部：kenchou@shinkyo.or.jp
tel：026-235-2258

第137回信濃教育会総集会更埴大会の記録をホームページに掲載しました。

○パネルディスカッション、講演会は会員ページよりご
覧ください。ホームページでの公開期間は8月7日
(月)までです。

○開会式、閉会式、信濃教育会オーケストラによる演奏
会の様子、令和4年度「教育研究論文・教育実践賞」
特選受賞者による動画による発表、ポスターセッシ
ョンのポスターもホームページでご覧になれます。



子ども絵画企画展 子どもから見える風景 子どもが感じる世界 8月4日（金）まで 信濃教育会館で開催中

「花やみどりのある絵展」「信州子ども絵画100年館の
絵展」のなかから、157点の作品を展示しています。子
どもたちの目に映る風景や学校生活の一コマ、自由で感
性豊かな作品は、私たちの心をとらえてはなりません。
何気ない地域の景色がかけがえない場所に感じたり夢
や創造力をかきたてられたりもします。

ご来館された皆様が、子どもの感じた世界をともに味
わい、ひととき明るい気持ちになっていただければと思
います。



新友情人形 ボニーちゃん を授業で活用しませんか



戦前、日米の友好親善を願い、アメリカから日本の子どもたちに1万2700体を越える人形が贈られました。この計画の中心であったギューリック博士の孫、シドニー・ギューリックさんもまた、日本各地に人形を贈り続けており、「長野県民へ贈りたい」という願いのもと平成27年にボニーちゃんが信濃教育会に贈られました。

ボニーちゃんは信濃教育会に展示されていますが、授業や学習で利用したいというご要望がございましたらいつでもご連絡ください。人形が贈られた背景にある人々の願いや、人形が辿ってきた歴史など、平和教育や国と国との友好を考える機会にぜひご活用ください。

8・9月の研修ガイド

8月1日(火) ●長野上水内教育会夏季大学 ◎長野上水内教育会館参集及びオンライン ◇「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」福岡伸一（青山学院大学教授）、「今、こだますとき～みすゞさんのまなざし～」矢崎節夫（金子みすゞ記念館館長）☆長野上水内教育会 026-226-2458

8月1日(火)～6日(日)

●信濃木崎夏期大学 ◎大町市木崎湖畔 信濃公堂 ◇「デフレ脱却への長い道程」岩田一政（日本経済研究センター代表理事）、「世界のなかの近世東アジア・東南アジア」岸本美緒（お茶の水女子大学名誉教授）、「三遊亭円朝作『怪談牡丹燈籠』の創作技法を考える」延廣眞治（東京大学名誉教授）、「ロシアとウクライナの戦争について考える」塩川伸明（東京大学名誉教授）、「医学と情報：ビッグデータとAI時代の医療」永井良三（自治医科大学学長）、「星の誕生と星間化学：化学的視点から考える私たちの起源」坂井南美（理化学研究所 開拓研究本部主任研究員）☆信濃木崎夏期大学事務所 0261-22-0440

8月3日(木) ●学級づくり講習会（信濃教育会と共催） ◎長野上水内教育会館 ◇岸田幸弘（松本大学教育学部教授） ☆信濃教育会 026-232-2470

8月5日(土) ●長野上水内教育会教育懇談会 ◎長野上水内教育会館参集及びオンライン ◇「魅力ある学校づくり～公立私立の学校改革の経験から～」栗原卯田子（前成城中学校・成城高等学校校長） ☆長野上水内教育会 026-226-2458

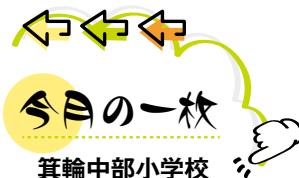
8月28日(月) ●教育懇談会（先輩の話を聞く会）※公益社団法人信濃教育会との共催事業（教育会集い事業） ◎塩尻市総合文化センター講堂 ◇「東筑摩教育会と近代短歌革新運動～太田水穂・窪田空穂を中心として～」青柳直良（平成12年度東筑摩塩尻教育会長） ☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先

令和5年度 「長野県学事関係職員録」正誤表

記載内容について訂正のご依頼がありましたので、お知らせします。（雑誌図書編集部）

頁	学校名	誤	正
68	諏訪西中学校	(記載無し)	諭(兼)初任研コ保体英 河口 孝



箕輪中部小学校

四年ぶりに全校児童が一堂に会して行われた運動会。綱引きも四年ぶり。校庭いっぱい広げられた大綱を、力を合わせて精一杯引きました。皆、笑顔で、小学校で初めての綱引きを楽しんでいました。



信濃教育

予告



学年担任制・教科担任制の実践に学ぶ

今回の実践では、まずシャワーを浴びている自分の絵をクレパスで描きました。指導の重点としたことは、目や眉、口の描き方で感情を表情に出すことでした。僚介さんはプール学習は大好きなのですが、顔に水がかかることはちよつと苦手です。シャワー中は歯をぐつとかみしめて、堪え忍ぶ表情を見せていました。そんな体験が生き、制作中も実に良い表情を描くことができた。子どもたちは、描きた

いことがはつきりしていると、自ずと手が動いていきます。作品制作における活動体験の大切さを、本実践で改めて理解することができました。人物が描けた後は、白い絵の具でシャワーを描きました。筆に白の絵の具をたっぶりつけ、思い切り振って水しぶきを表現しました。ここでも実体験が生き、どの子も上手に水しぶきを表現することができました。

指導者
越野 智夫（井上小学校）

100年館の絵

令和4年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「つめたい!!」

戸谷 僚介（井上小一年）

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026 (232) 2470
URL <https://shinkyo.or.jp> ✉ shinkyo@shinkyo.or.jp
編集兼発行人／武田 育夫

